

◆ 第 14 回 沼津市中心市街地まちづくり戦略会議

<p>会議次第</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 委員紹介 3 報告事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 前回（第 13 回まちづくり戦略会議）の振り返り (2) 沼津駅舎・駅前広場等のデザイン検討会議について (3) 意見交換 4 意見聴取事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 貨物駅跡地利用基本計画（素案）について (2) 意見交換 5 閉会 
<p>委員の 主な意見</p>	<p>【報告事項：前回（第 13 回まちづくり戦略会議）の振り返りについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地上横断化や道路空間の利活用については、将来的には歩道を広げて車線を狭くして全体としては 2 車線の道路にということだと思いが、パーソントリップ調査などと整合を図りながら進めてほしい。 <p>【報告事項：沼津駅舎・駅前広場等のデザイン検討会議について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検討会議については、熊本駅で実績ある早稲田大学の田中先生を迎え、初回は非常に意義ある話ができ、広域的な視点での議論ができ、駅の位置付けの糸口をつかめた。また折に触れてこの会議でも報告したい。 <p>【意見聴取事項：貨物駅跡地利用基本計画（素案）について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現時点においては、地域防災計画に位置付けられていないと思うが、現在指定されている防災拠点と今回の公園の位置関係や、広域的に物資を搬入する際の輸送経路をどのように想定しているのかを確認し、新たなインフラ整備が必要になるか等を検討する必要がある。 ・防災公園である以上、市の防災計画との整合が図られていて、果たすべき役割が明解に説明できるとよいため、引き続き検討して頂きたい。関連して、(都)大手町片浜線の幅員は 16m あるが、公園と都市計画道路は一体に考えるのが望ましい。また、防災計画に加え、自転車ネットワークの計画を踏まえておく必要がある。 ・高架下利用のイメージとして、ドッグランやアーバンスポーツが記載されているが、これらに限らず、モビリティ利用のゾーンや、歩行者空間、駐車場利用ということも考えられるため、ここの記載内容に限定せずに引き続き議論ができればと思う。また、(都)大手町片浜線が完成するまで、段階的に平常時・災害時にどのようにアクセスできるのかについて、市民も含めて周知が必要である。 ・時間軸を踏まえたアクセスについて、検討、調整して頂き、いつどこから利用できるのかという具体的なスケジュール、さらに都市計画道路や高架下の一体的利用について、いつ頃実現できるのかについてよく考えて頂きたい。 ・東海道本線南側だけのための防災公園というわけにはないため、防災公園としてのアクセスや全体のネットワークについて、多くの市民に分かりやすく示してほしい。この公園の南北の行き来については、非常時における工夫が必要になるため、J R 東海とも相談してほしい。 ・公園の話を知って、わくわくしている。駅前の広場は利用しやすいと思うが、その性質上様々な人が出入りするため、もう一步離れたこの公園に非常に興味を持っている。計画されている建物施設では、情報をキャッチできる機能があるとよい。情報を身近に共有できる場としてこの公園を活用し、実際に日常で何かあったときに、ここに来て情報が仕入れられれば、自然と防災につながる。子どもが小さいお母さん達には、居心地のよい居場所になればと思う。何かの情報の導入口として、常時誰か人がいるような場所になることを希望する。 ・Park-PFI などの仕掛けで、民間の力を借りながら、この公園に必要な機能を導入することも検討していくとよい。その際には色々な意見を頂いて、本を読めるスペースやコーヒーが飲める多目的なコミュニティスペースがここにあってもよい。

- 大きな施設ではなくても、その中に子ども達が集まれる場所を提供してほしい。幅広い時間帯で、幅広い人たちが集まれる公園となることを考えに加えてほしい。
- 平常時の使用方法はよいと思うが、災害時に民間事業者が介入できるのか、また、誰が防災公園を運営するのか疑問である。このような施設ができると非常に便利だと思うが、この公園の運営を民間に委託する場合、災害時に避難地・避難所として効果が発揮されるような仕様書としてほしい。あとは、災害時に車両が入りやすい整備をしていただきたい。災害時の対応について、運営事業者選定時の仕様書にしっかり書き込んでほしい。
- この公園に近い片浜北公園の利用状況を調査して、片浜北公園には平常時に利用する際に何が足りないのか、どのように改善していけるのかということを検討し、この公園の計画に位置付けないと片浜北公園は何だったのかということになりかねない。連携と役割分担というのをしっかり検討すべきである。
- 沼津警察署では、近年かなり雨を問題視している。中心市街地を含めて多箇所でも浸水が起きている。東海道本線沿いに関してもアンダーパスが設計されているが、この辺りは水に弱い場所が多々ある。今後の計画の中では、場合によっては立体交差など多種多様な渡り方を検討していただきたい。
- この公園の場所は駅から高架下を通行してアクセスできる、いい位置にあると思うので、暑熱対策を取り入れながら道路整備、高架下活用を考えていくとよい。また、自転車だけでなく電動キックボードなど新たなモビリティの導入を検討し、モビリティハブとなる機能をこの公園の中に作れるとよい。
- どうやって実際に高架下空間を活かしていくかということについて、早い段階からいろいろな意見を交換して、具体化するための高架下利用計画になるとよい。駅前の周辺整備も大切であるし、鉄道の高架下利用も大切だが、いずれにしてもそこを使う人々のアクティビティがあってこそその話になる。

以上